

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	地域振興部 地域づくり推進課	宮本 浩次郎
施策名	4 しまや半島など地域活性化の推進	事業群関係課(室)		
事業群名	② 地域の特徴を活かした地域発のプロジェクトの推進	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額	9,210

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)							
<p>活力ある地域づくりのため、それぞれの地域が自ら地域課題の解決に取り組むとともに、地域を担う一人一人の想いを活かしながら、豊かな自然環境、気候風土に培われた個性豊かな歴史文化など、それぞれの地域に特有の資源を活かした特色ある地域づくりを進めます。</p>		<p>i) 半島市町の広域連携による交流人口拡大及び定住促進の推進 ii) 各地域の特色や魅力的な地域資源を活かした地域活性化の取組の推進</p>							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	ながさき旅ネット内「半島ページ」のページビュー(PV)数	目標値①	7,020PV	7,125PV	7,232PV	7,340PV	7,450PV	7,450PV (R7)	
	実績値②	6,814PV (R元)	5,767PV					進捗状況	
	達成率②/①		82%						遅れ
									<p>地域内外の交流を活発化させるため、地域資源を活用した特徴ある地域づくりや、地域の魅力の効果的な情報発信を行うことで、認知度向上を目指すことを目標とし、国の制度・事業も活用した半島地域の情報発信、肥前業業圏や諫早湾干拓の地域資源を活用した事業を実施している。今後も、目標達成に向けて引き続き市町が連携し広域的な活動を行うよう働きかけ、半島地域の魅力発信に取り組む。</p>

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和3年度事業の成果等
				R2実績	うち一般財源	人件費(参考)		R2目標	R2実績	達成率		
				R3実績							R3目標	
				R4計画	事業実施の根拠法令等			主な指標	R4目標			
			事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)	令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容)					
			所管課(室)名				事業対象					
取組項目 i ii	○	1	半島振興推進費	6,369	3,463	4,695	半島振興対策実施地域の振興を図るには、国の財政措置等の充実が不可欠であるため、県内外の関係団体と連携し、要望活動を実施した。 半島振興広域連携促進事業については、半島地域が広域的に取り組む、地域の特性を活かした交流促進、産業振興、定住促進等の事業について、半島地域魅力発見委員会等3団体を支援した。	【活動指標】	2	2	100%	●事業の成果 ・半島振興広域連携促進事業に係る事業費の必要額が確保されたほか、令和3年3月末が適用期限となっていた半島振興税制について、令和5年3月末まで期間が延長された。 ●事業群の目標達成への寄与 ・半島振興広域連携促進事業において、SNS等で半島地域の魅力を情報発信する取組を支援し、目標達成に寄与した。
				4,763	2,809	4,674		要望活動回数(回)	2	2	100%	
				6,634	4,314	4,608			2			
			H13-					【成果指標】	数値目標なし	一部実現	—	
			地域づくり推進課	—	—	—	半島振興対策実施地域	半島振興策に係る国の支援等の要望実現	数値目標なし			

取組項目 ii	○	2	振興局活動推進費 (県北プロジェクト)	3,000	2,850	14,022	本県、佐賀県及び関係自治体、団体等で設置する「肥前窯業圏」活性化推進協議会において、産地への誘客促進のためSNS等を活用した情報発信を行い肥前窯業圏の認知度向上を図るとともに、産地の素材を盛り込んだ周遊バスポートを作成し、来訪者の周遊化と消費喚起につなげることで県北地域の経済活性化を図った。	【活動指標】	2	2	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の成果</li> <li>・産地の特色を活かした着地型旅行商品素材を2件創出できたものの、新型コロナウイルス感染症の影響から入館者数は減少した。しかしながら、前年より増加する月も徐々に始まっており、今後の回復が期待できる。</li> <li>●事業群の目標達成への寄与</li> <li>・「肥前窯業圏」活性化推進協議会において、文化観光創出事業(体験コンテンツの造成等)の構築及び実施により目標達成に寄与した。今後も継続した事業の展開により連携を深めていきたい。</li> </ul>
			3,000	1,500	13,826	【成果指標】		2				
			R3-4					圏域内主要文化施設の入館者数(千人)	137	134	97%	
			地域づくり推進課	—	—	—		関係市町、各市町商工・観光関係団体、窯業関係団体など	138			
	3	振興局活動推進費 (県央プロジェクト)	563	282	15,648	諫早湾干拓にぎわい創出協議会(事務局:県央振興局)事業として、諫早湾干拓地について、地域住民が身近に親しむ機会(学ぶ・遊ぶ・観る・使う)を創出するために、諫干まつり、ボート体験会、諫干を花で装飾など各種イベントを実施した。	【活動指標】	7	5	71%		
			1,447	724	15,580		取組メニュー数(メニュー)	7	6	85%		
							【成果指標】	44	35	79%		
			(R3終了)H28-R3					県民が諫早湾干拓地に親しむ機会を創出した日数(日)	38	36	94%	
	地域づくり推進課	—	—	—	主に干拓地周辺の地域住民							

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 半島市町の広域連携による交流人口拡大及び定住促進の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●実績の検証及び解決すべき課題</li> <li>・半島地域の魅力的な資源を活かして、観光・イベントプロモーションや産業の振興を図るイベントの実施など、半島地域をPRするための情報発信や地域間交流などに取り組んできたが、依然として一般地域と比較して地理的な条件が不利であり、人口減少が進んでいる状況である。</li> <li>・国の財政措置等について要望活動を行い、事業費の必要額の確保、半島振興税制の期間延長につながっているが、依然として支援の拡充、及び支援の必要性の裏づけとなる、制度の活用促進が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決に向けた方向性</li> <li>・国の財政措置等の充実が不可欠であり、庁内・市町からの意見も汲み取り、本県の実情を踏まえた具体的な要望・提案活動を継続的に行っていくとともに、半島振興計画に基づき半島地域の活性化を図る。</li> <li>・半島振興税制の活用促進のため商工会等を通じた制度周知を図り、また、市町が連携して国の補助事業等を有効活用した広域的な取組を行うよう働きかけ、半島地域の魅力発信等の取組を引き続き行っていくことで交流人口を増やし、地域の活力につなげる。</li> </ul>
ii 各地域の特色や魅力的な地域資源を活かした地域活性化の取組の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●実績の検証及び解決すべき課題</li> <li>・地域の資源を掘り起こして活用する肥前窯業圏の取組や『いさかん』魅力発見！プロジェクトにより、窯業圏の日本遺産認定や、本明川の競技用ボート練習場としての認知度が向上し、民間の参画意識が高まっているが、持続可能な地域主体の事業として移行させることが課題である。</li> <li>・肥前窯業圏については、SNSの活用や産地の特色を活かした着地型旅行商品素材の創出により、認知度向上・来訪者の消費喚起につなげ地域の活性化を図ってきたが、新型コロナ感染などの影響により産地はダメージを受け厳しい状況下に置かれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決に向けた方向性</li> <li>・肥前窯業圏では、引き続き産地の特色を活かした事業により認知度向上・誘客促進を図りつつ、協議会の事業戦略を明確化し、学校等教育機関や民間事業者等と連携した人材育成事業を実施することにより受入態勢の強化を行う。さらに今後も日本遺産として認定された「窯業圏」として継続していくために、長崎県佐賀県の両事務局が協働し取り巻く環境に柔軟に対応できる圏域づくりを実施し地域活性化に寄与していく。</li> </ul>

### 4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名 事業期間 所管課(室)名	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しがない場合は「—」と記載	令和5年度事業の実施に向けた方向性		
					事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 ii	○	1	半島振興推進費 H13- 地域づくり推進課	国の制度、事業も活用し、半島地域の情報発信を強化	②⑤⑧	今後も継続して、本県の実情等を踏まえた具体的な要望・提案を国に対して行っていくとともに、国の補助金等を活用した半島活性化を推進していく。	現状維持

取組 項目 ii	○	2	振興局活動推進費 (県北プロジェクト)	誘客促進事業の強化、現状を踏まえた協議会運営の検討	⑤⑥⑦	「日本遺産を通じた地域活性化計画」に基づき、協議会事業の推進体制の強化や産地間の連携による自走の促進、産地人材育成による誇りの醸成などにより肥前窯業圏域の活性化を推進していくための取組を継続・強化する必要があるため、事業の再構築を検討し、今後も県北振興局プロジェクトの一環として肥前窯業圏の取組を支援していく。	終了
			R3-4				
			地域づくり推進課				

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点